

大高氏から石岡への書簡

30.7.30

40

御丁重なお手紙有難う御座います。お誘ひ戴きましたカイル切断の現地調査も其の後落ちた場所に行き見たいと思ひながらまた行きますせんじしたごとく丁度よい折と存じます。

私ハ八月八日の晩から約十日間上高地(主ハ養魚場)に居り予定で居りますから九・十・十一日の三日間のうちですと甚好都合で御座居ます。勝手ながら十四・十五の両日は約束が有りますを御同行致しかねます。他の日でしたらまた都合がつくかとも存じます。恐れ入ります。右おふくみの上貴方の御都合のおよろしい日を八日の晩までに養魚場へ御聯絡置き戴ければ幸甚と存じます。

現場調査依頼に対する大高氏の返信

末の筆で恐縮ですが、若山さんが一日も  
早く奔見されます様へ、心から  
お祈り申し上げます。

七月三十日

大高俊通

石岡 様